

面接/Face-to-face

学則第9条の5 対象：対象外/Not Applicable

Article 9-5 of the Undergraduate Regulations applies

10403311-026

△ 2 年次演習関連科目-26 (世界と関西経済の実践的解明・基礎編)

2 単位/Unit 秋学期/Fall 今出川/Imadegawa 講義/Lecture

Second Year Advanced Seminar-26 (Practical Solutions in Globalization and Kansai Economy (Basic))

西岡 幹雄 笠井 高人

<概要/Course Content Summary >

世界と関西経済の実践的解明・基礎編は、江戸期以来、積極的に対応・展開してきた関西の政治経済における客観性と合理性の基礎を明らかにする。新たな諸資料を自ら発見・駆使して、誰でも活用できる簡単なツールを使い、自己基礎力を高めていくことは、急速なグローバル化・AI化および政治経済のデータ分析化に不可欠なものである。以上の観点に立って、ゼミの趣旨に沿う、関西の経済社会にかかわる効果と評価の問題を、もっとも基礎的な段階から取り上げる。

<到達目標/Goals,Aims >

教員が担当するだけでなく、こうした趣旨に賛同の院生・先輩諸君、関西経済にとくにご関心をお持ちのゼミ OBの方々、あるいは2年演習生が実証的な経済諸制度の分析、地域経済、経済組織・経営戦略などの具体性を簡単な手法で明らかにする作業、あるいは簡単な経済統計ツールを使いこなすことで、思想の実証性を身につける。

< DO Week 期間の初回動画等の配信/The delivery of the first video, etc. during the "DO Week" >

なし/ Not deliver the video

<授業計画/Schedule >

| 実施時期/ Week | 授業回/Number of Lesson | 授業実施方法/How to Conduct a Lesson | 授業実施時間数/Class Hours |
|---------------|---|--------------------------------|---------------------|
| | 内容/Contents | | |
| | 授業計画外の学習/Assignments | | |
| 第1週 | | なし | 0分/min. |
| DO Week | | | |
| 第2週 | 第1回 世界と関西経済の実践的解明・基礎編の担当教員による概要説明(1) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 基礎編の担当教員による説明 (1) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | | |
| 第3週 | 第2回 (世界と関西経済の実践的解明(2)) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 基礎編の担当教員による説明 (2) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | | |
| 第4週 | 第3回 (3 年生による世界と関西経済の実践的解明(1)) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 基礎編の実践例 (1) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | | |
| 第5週 | 第4回 (3 年生による世界と関西経済の実践的解明(2)) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 基礎編の実践例 (2) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | | |
| 第6週 | 第5回 (関西地域の産業連関・原理と実践 (1)) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 原理と実践 (1) 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | | |
| 第7週 | 第6回 (関西地域の産業連関・原理と実践 (2)) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |

| | | | |
|--|--|--|-----------|
| | 原理と実践 (2) | | |
| | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | | |
| 第 8 週 | 第 7 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (3)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践 (3) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 第 9 週 | 第 8 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (4)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践 (4) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 第 10 週 | 第 9 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (5)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践 (5) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 第 11 週 | 第 10 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (6)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践 (6) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 第 12 週 | 第 11 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (7)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践 (7) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 第 13 週 | 第 12 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (8)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践 (8) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 第 14 週 | 第 13 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (9)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践 (9) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 授業期間 終了後/ After the Class Period | 第 14 回(関西地域の産業関連・原理と実践 (10)) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 原理と実践(10) | 事前の詳細な研究調査とクラスでの積極的な発表の姿勢が重要である。クラス終了後は、クラスでのエッセンスは何であったのかを自分自身で再確認できれば、実社会に進んでも役立つ。 | |
| 授業期間 終了後/ After the Class Period | 第 15 回(世界と関西経済の実践的解明・基礎編のまとめと意義) | 面接/Face-to-face | 90 分/min. |
| | 「世界と関西経済の実践的解明・基礎編」の内容を全体的に振り返り、個々に展開された重要点を再確認する。また、この内容を基礎にしたレポート作成についても、取り上げる。 | | |
| | 「世界と関西経済の実践的解明・応用編」の内容を全体的に振り返り、これを基礎にしたレポート作成に必要な箇所を履修者個々が、事前に整理しておく。 | | |

授業計画の個々の実施回と内容については上記の通りですが、その進展具合によって、若干、授業計画を変更する可能性があります。

| 授業実施方法/How To Conduct a lesson | 授業実施時間数/Class Hours |
|--|---------------------|
| 面接/Face-to-face | 1350 分/min. |
| オンデマンド (動画視聴) /On-demand(watching video) | 0 分/min. |
| オンデマンド (授業内課題) /On-demand(assignment in class) | 0 分/min. |
| リアルタイム配信/Real-time online | 0 分/min. |
| その他/Others | 0 分/min. |
| 総合計/Totlal Amount class hours | 1350 分/min. |

アクティブラーニング/Active Learning

発見学習 / Discovery Learning, 体験学習 / Experiential Learning, 調査学習 / Research Based Learning, 課題解決型学習 / PBL (Project Based Learning), 問題解決型学習 / PBL (Problem Based Learning), ディスカッション / Discussion, デイバート / Debate, グループワーク / Group Work, プレゼンテーション / Presentation, 実習 / Practical Training, フィールドワーク / Fieldwork

使用システム/System tools

e-class

<成績評価基準/Evaluation Criteria >

平常点(クラス参加, グループ作業の成果等) 10%

出席, クラス参加の成果等

期末レポート試験・論文 50%

論題・テーマに対してどこまで理解できているかが評価ポイント

クラスで発表など 30%

講義時間中にその内容にかかわる発表

クラスへの貢献度 10%

講義に積極的にかかわった成果等

関西地域の産業関連・原理と実践にかかわるアイデア提供貢献度, 平常点(出席, クラス参加, グループ作業の成果や貢献等), クラスで発表など, および期末レポートのそれぞれが有機的な成績評価につながる。

<テキスト/Textbook >

小長谷一之・前川知史『経済効果入門ー地域活性化・企画立案・政策評価のツールー』（日本評論社，2014）第Ⅰ部・第Ⅱ部，ISBN:4535556601

<連絡方法/Contact method >

科目担当者への連絡方法/Contact method from student to instructor

本学 HP から e-class にアクセスして，「2 年次演習関連科目 (世界と関西経済の実践的解明・基礎編)」からアクセスしてください。

科目担当者からの連絡方法/Contact method from instructor to students

本学 HP から e-class にアクセスして，「2 年次演習関連科目 (世界と関西経済の実践的解明・基礎編)」のページから行います。（また DUET を利用する場合もあります。）